



外国籍の 子ども・保護者への 対応力向上研修



現場で使える「やさしい日本語」と対応のコツ

外国籍家庭との関わりでは、言葉はもちろん、文化や生活習慣の違いから、「伝わっているのかな？」と心配になる場面はありませんか。本研修では、現場で悩みやすい場面をもとに、「やさしい日本語」や文化的背景の違いを踏まえた関わり方を実践的に学びます。



こんなことで困っていませんか？

この研修で学べること



言語

日本語を話せても、読めないため
園だよりの内容が伝わらない…

言語

母国語も日本語も未成熟な子ども。
何語で保育をすれば良いの…？

文化

園内ではアクセサリーを外すようお願いしたが、
文化や宗教上の理由で断られてしまった…



伝わる！
「やさしい日本語」
の使い方



外国籍家庭の
対応のポイント



支援に役立つ
制度・相談先



こんな時どうする？
事例検討

講師 高田 真由美 氏 (Be as One 代表)



アメリカの高校を卒業後、大阪府立大学 社会福祉学部に進学。(株)船井総合研究所、(独)国際協力機構を経て、(公社)ひょうご観光本部ホスピタリティーマネージャーを務める。ヨルダン、エジプトでの滞在経験を活かし、外国人への教育・支援に加え、外国人財と共に働く日本企業に向けた異文化理解研修を通じ、多文化共生社会の基盤づくりをサポートしている。



日時

令和9年
2 / 22 (月)
9:30 ~ 12:30

対象

社会福祉施設職員 (定員40名)

会場

こうべ市民福祉交流センター

- 各線「三宮」駅下車、徒歩15分
- 市営地下鉄海岸線「三宮・花時計前」下車、徒歩7分
- 市バス7系統「市民福祉交流センター前」下車すぐ
- 📍 (右の二次元コードでGooglemapへ移行します)



受講料

3,000円 (事前振込)

申込

市民福祉大学ホームページ
(<https://www.shiminfukushidaigaku.jp/>)

お申込みページ



申込締切

2 / 1
(月)

※個人情報は研修にかかる事務以外には使用いたしません。

